

# 十四川 桜まつり

4月1日(日)~10日(火)

## 花コンサート

日時：4月7日(土) 14時  
場所：富田地区市民センター 2階ホール  
出演：都山流尺八 木村道山、道山会有志  
箏曲 伴野節子と社中  
参加料：500円【チケットは地区社協事務局(地区市民センター2階)で3月7日(水)より発売】

## 写生大会

日時：4月7日(土) 10時~16時  
【雨天中止】

## 写生教室

日時：4月7日(土) 9時【雨天中止】  
写生作品受付

4月1日(日)~10日(火)  
本部または地区社協事務局

## 俳句募集

日時：4月1日(日)~10日(火)  
受付：本部または地区社協事務局

本部・イベント広場は「桜まつり」期間中、四日市高校南の水防倉庫付近に設置されます。

問合せ：地区社協事務局 366-1513

## 路上ライブ

日時：4月8日(日) 13時  
場所：思案橋付近(四日市高校南)  
出演：北星高校「桜まつりもりあげ隊」

## スタンプラリー

日時：4月7日(土)・8日(日)  
10時~16時(小雨決行)  
受付：本部

## 「富田名物 小田巻」実演販売

日時：4月7日(土)・8日(日)  
10時~売り切れまで  
価格：1個 200円

## 「くうちゃんサフシ」販売

日時：4月7日(土)・8日(日)  
10時~売り切れまで  
価格：1枚 200円

# 3月から使用済みインクカートリッジの回収を始めました

四日市市ではリサイクルとごみの減量を推進するため、プリンターメーカー6社が進めているインクカートリッジの回収から再資源化のリサイクル運動「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、回収を始めました。リサイクルへのご協力をお願いいたします。

## 回収場所及び回収方法

市役所5階、各地区市民センター、楠総合支所、楠公民館に設置された「インクカートリッジ里帰りプロジェクト回収箱」に使用済みインクカートリッジを入れてください。



## 第28回 四日市市北部ブロック駅伝大会

北部ブロック6地区の代表、小学生から大人まで男女10人でタスキをつなぎ、富双緑地公園内(10区間・17.6km)を走ります。富田地区から2チームが参加します。ぜひお越しいただき、応援をお願いします。

日時：3月11日(日)【小雨決行】

開会式...9時20分

スタート...10時

ゴール・閉会式...11時55分(到着予定時間)

場所：富双緑地公園(園内コース)



## 霞コンビナートより定期修理のお知らせ

霞コンビナートでは、工場操業の安全を確保するため定期修理を行います。

修理期間(予定)は3月3日(土)~4月17日(火)です。

特に、3月11日(日)と4月14日(土)には、フレアースタック(燃焼装置)は炎や音が大きくなる予定ですので、あらかじめご了承ください。

定期修理ならびに燃焼作業は、万全の注意を払いながら実施するよう申し入れてあります。

みなさま方のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

問合せ：東ソー株式会社四日市事業所総務課 364-1111

# 3月25日(日)日曜窓口を開設

四日市市と近隣市町(桑名市、いなべ市、鈴鹿市、亀山市、東員町、菰野町)津市、松阪市の7市2町で日曜窓口を開設します。

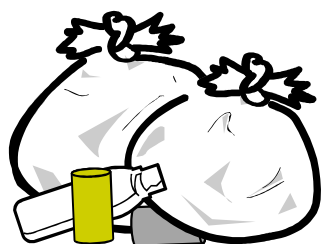
四日市市役所の開設場所と内容(開設時間:8時30分~17時15分)

階	窓 口	取 扱 業 務
1階	市民課 354-8152	転入・転出などの手続き、外国人登録、戸籍の届け出、住民票の写し(広域交付住民票は除く)・登録原票記載事項証明書・戸籍の証明書の交付、印鑑登録・証明書の交付、各種税証明の交付
2階	市民税課 354-8133	原動機付自転車・小型特殊自動車の廃車・名義変更など(四日市市発行のナンバープレートのみ)
3階	保険年金課 354-8159 354-8161	国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の手続き
	福祉総務課 354-8163	子ども手当、子ども医療費助成の手続きなど
	介護・高齢福祉課 354-8427 354-8190	要介護認定申請の受付、介護保険料の相談・収納など
9階	学校教育課 354-8250	市立小・中学校の新入学手続き

外国人向けの生活オリエンテーション(生活情報案内)も本庁1階ロビーに開設します(10時~15時)

地区市民センター・楠総合支所では開設していませんのでご注意ください。

## 4月からの「ゴミ収集日程表」が配布されています



4月~9月までの『ゴミ収集日程表』が、広報「よっかいち」3月上旬号と一緒に配布されました。日程表のほかに、粗大ごみ個別有料収集についてや、家庭ごみなどの直接搬入先などが掲載されています。大切にご活用ください。

問合せ:生活環境課 354-8192

## 地区市民センターでの、使用済み乾電池の収集について

地区市民センターでは、乾電池のみ随時受け入れています。

水銀体温計は年1回の回収です。(ゴミ日程表でご確認ください)

充電式電池、ボタン電池は販売店へ必ず返却してください。

スプレー缶、使い捨てライターなど、乾電池以外は受け入れていません。



住み慣れた自宅での療養生活を考える 3

## ~四日市社会保険病院退院後に 自宅で療養することを選択した事例を通して~

四日市社会保険病院を退院後に在宅で療養することを選択した実際の症例を通して、それを支えた四日市社会保険病院医師、看護師、地域連携室、在宅医、ケアマネジャー、訪問看護のそれぞれの立場から在宅医療の実際を知る話をさせていただきます。

日 時:平成24年3月27日(火) 14時~15時30分

場 所:四日市社会保険病院 健康管理センター 4階 多目的ホール

定 員:60名

参加費:無料 事前申込の必要はありません。

講 師:四日市社会保険病院...医師 佐藤良子氏、看護師 位田由起子氏

医療ソーシャルワーカー...辻恵子氏

いしが在宅ケアクリニック...院長 石賀丈士氏、看護師 川口真由氏

善快堂薬局...薬剤師 亀井武司氏

プロセスケア介護支援専門員...浅野幸広氏、訪問看護師 小林千奈美氏

問合せ:四日市市保健所 健康総務課 354-8281

## 四日市市議会 議会報告会のお知らせ

2月定例会議会の議会報告会を3月27日・28日に開催します。今回は常任委員会ごとに2日に分けて、1日2常任委員会ずつ、4会場で開催します。

定例会議会でどのような議論がされたのかを、議員が直接、市民の皆さんにお伝えします。報告会後にシティ・ミーティング(意見交換会)を開催します。

事前の申込みは不要ですので、参加を希望する会場にお気軽にお越しください。

第1部:議会報告会 第2部:シティ・ミーティング(意見交換会)

日時	3月27日(火)		3月28日(水)	
	18時30分~20時45分		18時30分~20時45分	
常任委員会	総務	都市・環境	教育民生	産業生活
会場	総合会館 7階第1研修室	三重北勢健康増進センター (ヘルスプラザ) 1階研修室	中消防署中央分署 3階多目的ホール	あさけプラザ 2階第4・5会議室
シティ・ミーティング テーマ	防災対策について	防災対策について 交通施策について	教育全般について 福祉・医療について	8,358人の外国人 市民とどう暮らすか

全会場、手話通訳いたします。

天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

総合会館へお車でお越しになる方は、市営中央駐車場に駐車してください。

問合せ:議会事務局議事課 354-8340

## 水沢地区からパンジーをいただきました

水沢地区市民センターから2月中旬に、パンジーの苗を差し上げますとの連絡があり、社協環境部会の有志の方に水沢地区まで取りに行ってもらいました。

この色とりどりのパンジーの苗は後日、地区市民センターの花壇と富田小学校のポットへ補植していただきました。作業をしていただいた皆さんに御礼申し上げます。



## 十四川へのEMだんご投入が行われました

2月25日(土)午前9時から、十四川を守る会と有志の方により今年度最後のEMだんご投入が行われました。今回は桜まつりに備えて市役所が川底の清掃をするため、ひもを付けたEMだんごの網袋は丸の内より上流の北鶴方面へ設置されました。残りのだんごはそのまま最下流の豊栄橋付近で投入されました。

十四川を守る会では、今回の水質調査結果ではEMだんごによる悪影響は確認されなかったため、来年度もEMだんごの投入を行う予定です。皆様のご協力をお願いします。



## 美味しい「いちご大福」の作り方を学びました

2月25日(土)午前9時30分から、地区市民センター調理室で和菓子教室が行われ、参加者15名が講師の渡辺弘幸さんから「いちご大福」の作り方を学びました。

作り方は、まず白あんの中にへたを取った苺を入れておきます。次に大福の“皮”を作るためにボウルの中で餅粉と砂糖をまぜて電子レンジに入れ、途中で2回かき混ぜます。大福の皮で苺入りの白あんを包むように丸めて出来上がり。大福を先生のようにきれいに丸められず苦労しましたが、とても美味しく、皆大満足でした。



## 稲むらの火の館～自主防災隊の視察研修が行われました

2月26日(日)富田地区連合自主防災隊主催の視察研修で、自主防災隊員をはじめ、自治会長など総勢71名が和歌山県広川町の「稲むらの火の館」を視察しました。

「稲むらの火」とは、1854年11月5日の夕刻、安政南海地震による津波が広川町(当時は広村)を襲った際、村のリーダー的存在だった濱口梧陵(はまぐちごりょう)という人が、自分の田の「稲むら」(刈り取った後の稲の束)に火を放ち、暗闇の中を逃げ惑う住民の避難の目印にし、その結果、村人の9割以上が助かったという実話です。



近年コンクリートで補強された広村堤防を見学



参加者はまず、3Dシアターで、津波について迫力ある映像で学習。その後、熊野館長(左写真)から説明を受けました。濱口梧陵は津波の後も、莫大な私財を投じて、海岸に高さ約5m、長さ約600mの堤防(広村堤防)を建設し、その工事に、家を失って村を去ろうとした村人たちを雇いました。無償の援助ではなく、仕事を与えられたことで、村人たちは自立した生活を送ることができ、村を去ること

なく再興することができた、ということです。実際に昭和21年の昭和南海地震による津波の際には、この堤防が町の中心部を津波から守りました。ただ、堤防のない河口部分にあった紡績工場などでは犠牲者が出ました。ここで働いていた人の多くは地元の人ではなく、津波の認識が薄かったことも一因ということです。

災害への備えは、堤防などのハード面だけでは不十分で、正しい知識・訓練といったソフト面が組み合わさって初めて効果が発揮される、という熊野館長の話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

## 明治・大正・昭和期の富田を語りました

2月26日(日)午後1時から地区市民センター2階で、NPO法人市民社会研究所主催「一人一人の八風街道」出入り自由・誰でも委員会」が「悠久の歴史ロマン」をテーマに開催されました。

今回のゲストは富田地区文化財保存会の荒木光男さんです。会議では明治・大正・昭和の茂福、東富田の地図を使用して貴重なお話をいただきました。十四川の名前の由来や明治期の姿、東海道周辺から鉄道駅を中心とした町の拡がり、浜の様子の変遷など、とても興味深いものでした。

またこの会議では誰でも自由に思い出を語ることが出来ます。参加者が語ったJR富田西口の「富田処女団の石碑」の話から、明治末期の富田周辺の様子が浮かび上がりました。

